



2013 年度活動報告書

発行:2014 年 6 月

公益財団法人大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

東日本大震災から3年目となる2013年度、大阪YWCAでは「被災地には支援を必要としている人がまだまだいる」という認識の下、「大阪でできる支援の継続」を基本方針とし、さまざまな形で被災者支援活動を行ってきました。

「大阪わいわいステイプログラム」は、原発事故による放射能の影響から子どもたちを少しの間でも遠ざけたいという親の希望にこたえて、福島を中心とした被災地の子どもたちを大阪に招いて過ごしてもらおうリフレッシュプログラムです。2013年度も8月と3月に実施し、延べ20人の子どもたちが大阪にやってきました。

チャリティコンサート「Stand by you vol. 2」は東北支援の必要性を広く発信するために企画したもので、2011年度に引き続き第二弾を実施しました。また、被災支援の情報発信と活動資金調達のために、3月8日には大阪梅田で街頭募金を行いました。

さらに現地での活動として、震災直後からつながりのある仮設住宅に集会所のお茶会に使うコーヒー豆のプレゼントを現地に訪れる機会をとらえて継続して行ってきました。

これらの活動は、助成金や多くの方々からの募金、協力によって実現したものです。私たちは、この一年の支援活動を通して、たくさんの人たちと出会い、喜びを分かち合ってきました。震災から時間が経過するにつれ、被災地のようすが見えにくくなっているのが現状です。東北から遠く離れ、大阪に住む私たちは被災地のことを忘れがちになりますが、少しでも現地の人たちのことを思い、これからも可能な限り支援活動を続けていきたいと考えています

(大阪YWCA運営委員会東日本大震災被災者支援担当：平井佐津紀)



- ・上 2013/8/3(土)～8/5日(月)
京都YMCAサバエ教育キャンプ場にて
- ・右 2013/8/8(木)
おでかけプログラム 箕面の滝にて

■大阪わいわいステイプログラム

被災地の子どもたちに外で思い切り遊んでもらいたい。そんな思いからはじまった「大阪わいわいステイプログラム」。5回目の夏は福島・宮城から11名、6回目となった春は10名の子どもたちを招待しました。キャンプに大阪観光、大阪の家庭でのホームステイと、盛りだくさんのプログラムとなりました。

◇2013年8月◇

日程	子どもたちの過ごし方	宿泊先
8/2(金)	福島から大阪に移動	大阪YWCAこども館
8/3(土)	大阪YWCA青少年部主催夏キャンプ 「もえろ!ウォーターキッズ」に参加	京都YMCA サバエ教育キャンプ場
8/4(日)		ホストファミリー宅
8/5(月)		
8/6(火)	おでかけプログラム 大阪市立科学館	
8/7(水)	こども館プログラム	
8/8(木)	おでかけプログラム 箕面の滝	—
8/9(金)	大阪から福島に移動	

*もえろ!ウォーターキッズ キャンプ 8/3(土)~8/5(月)

今年は、福島、宮城、大阪の子どもたち、総勢24名のにぎやかなキャンプになりました。キャンプ期間中は天候にも恵まれ、琵琶湖畔のキャンプ場で水遊び中心の3日間を過ごしました。テーマは「水」と「仲間」です。キャンプではグループで活動します。グループの中には友達やきょうだいもいますが、もちろん初めて会う子もいます。そんな子どもたちがキャンプ3日間を通して、ともに生活し、話し合い、協力して活動することでだんだん大切な仲間になっていく姿を見ることができたように思います。



このキャンプのメインは、なんといっても水遊びです。湖岸の少し深いところでは、高学年の男の子たちがシジミ採りに熱中していました。採れたシジミはキャンプ場のかたにお願いして味噌汁にしてもらい、みんなでおいしくいただきました。



また、カヌーにも2回乗りました。特に最終日の朝カヌーは最高でした。いつもより早く起きて、朝ごはんを持って琵琶湖にこぎ出しました。早朝の風は~おいしくいただきました。

ときには、ものすごい雷と夕立でちょっとこわい思いもしましたが、みんなでキャンプソングを歌って乗り切りました。自然の中で仲間と暮らすという、キャンプならではの体験を満喫した3日間でした。

*おでかけプログラム 大阪市立科学館 8/6(火)

この日は電車に乗って大阪市立科学館へ行きました。着いたら先に昼食のサンドイッチを食べました。苦手な物を友達と交換しながら食べていました。「もっと食べたい。」という声がたくさん出てきました。

そして次はいよいよプラネタリウム。このプラネタリウムが今回のメインプログラムです。期間限定で上映しているブラックホールを見ました。大阪の夜の町並みがプラネタリウムに映った時に、「大阪って明るいなあ。」と言っている子どもがおり、街頭やネオンが多い大阪はやっぱり明るいんだなと実感しました。解説員の話聞きながらとうとうしそうな子やブラックホールができる仕組みなど、大人が聞いていても難しい内容を熱心に聞いている子ども達の姿がありました。



プラネタリウムの後は科学館の展示場を自由に見て回りました。建物は4階建てで、宇宙から科学、電気とエネルギーといったフロアに分かれており、様々な年齢の子ども達が楽しめるようになっていました。高学年の子ども達は“物質の科学”のフロアに興味津々。理科の授業で少し見たことがあるようで「これ知ってる。」と言いながらじっと観察し、解説員に質問をしていました。低学年の子ども達は、“楽しみながら科学の世界に触れるフロア”で長い時間楽しんでいました。

帰る時間になっても「まだ居たい。」や「こんなところがある大阪ってすごいな。」と子ども達は言っており、楽しい一日になって良かったと感じました。

*こども館プログラム 8/7 (水)

この日はクッキーを作って食べるというプログラムでした。リーダーが生地まで作り、その後を皆でやってもらおうと生地を作っていると、早く来た子ども達が手伝ってくれました。プログラムが始まると生地をめん棒でのばし、用意していた様々な型抜きで型をとっていきました。食べ物を作っているからなのか真剣で、仲良く型の貸し借りをしながら作り、個性溢れるトッピングをしました。

昼食は、会員さんやリーダーさんが作ってくれた大阪名物のお好み焼と焼きそば、デザートには寒天ゼリーが出ました。やはりお好み焼きは美味しいのか、お代わりしている子がとても多かったです。

昼食後は、この日会員さんの紹介としてきてくれていた外国人のリーダーさんが、ミニコンサートとして、演奏をしてくれました。知っている曲が多く、口ずさんでいる声も聞こえました。



午後は、大阪の子ども達もたくさん来て、出来上がったクッキーを食べました。自分達で作ったクッキーは美味しいのかとても笑顔で食べていました。

*おでかけプログラム 箕面の滝 8/8 (木)

お出かけ第2弾は箕面の滝に行きました。炎天下の中、片道40分みんなよくがんばって歩きました。メンバーには少しきついかと思いましたが、「毎日片道40分かけて学校に行っている」というメンバーもいました。

40分とは大阪の通学時間からすると随分遠く感じましたが、事故後からなのか、事故前からなのかは、聞けず、複雑な心境になりました。木の中を歩くと、街中ほど暑さは感じず、お話し、虫を見つけ、川の中の魚を見たり、楽しい道のりでした。さすがに到着した時には、

少しばてていましたが、滝を見てテンションアップ！その後の水遊びでさらにアップ！キャンプで水遊びを存分にしていたので、どうかनाと思いましたが、全員頭の中から足の先までびしょり。地震の前はきっともっと広くてもっと綺麗な川で元気に水遊びしていたんだろうなと思うと、時間が止まってほしいと思ってしまいました。みんな、とてもいい顔していました。帰りのバスでは少々眠かったようで、爆睡しているメンバーも。1日中空の下で思いっきり遊べたかな？大人も子どももとても楽しい1日になりました。



◇2014年3月◇

日程	子どもたちの過ごし方	宿泊先
3/25(火)	福島から大阪に移動	ホストファミリー宅
3/26(水)	こども館ゆっくりプログラム	
3/27(木)	おでかけプログラム ビックバン	
3/28(金)	大阪YWCA 青少年部主催春キャンプ ほのおに学べ！もくもくアツアツキャンプ	吹田市立少年自然の家
3/29(土)		もくもくの里
3/30(日)		ホストファミリー宅
3/31(月)	大阪から福島に移動	—

*こども館ゆっくりプログラム 折り紙手芸&ミニ運動会

この日はあいにくの雨でしたが、子どもたちは元気にシャロン千里こども館に来てくれました。前日の移動疲れなどを全く見せずに、こども館に来るなりおもちゃで遊び始める子ども達の姿がありました。

プログラムの午前中は同じホストファミリーに泊まる子どもたちの交流を深めることと、これからお世話になるホストファミリーへのお礼の気持ちを込めてプレゼントとしてグループ単位で折り紙の壺を作りました。作り方の説明の後、子どもたちは黙々と折り始め、30分も集中して作っていました。子ども達の集中力には本当に驚きました。また、グループで、折る人と挿す人といったように、自分たちで役割分担をしている場面もみられました。さらに、他のグループの出来栄を見て、「すごい!!」と感想を伝えている姿もありました。

お昼ご飯は会員さんやリーダーが作ってくれた、ハヤシライスとサラダ、ミルクプリンです。ハヤシライスは子どもたちの大好物なので、「おかわりある?」と聞きに来る子どもたちが多く、もりもり食べていました。



午後はこども館でミニ運動会。手押し車やじぐざぐゲームをしました。子どもたちは勝負事にはとっても真剣。速くゴールするために工夫をしていました。

また、こども館には大阪の子どもたちも来ており、大阪組と福島組とに分かれてドッチボールをして遊んでいました。その姿は一生懸命で、お互い汗を流して楽しんでいました。

*おでかけプログラム ビックバン

この日はみんなで電車を乗り継いで、堺市にある大阪府立大型児童館ビックバンに行きました。

ビックバンにはいろいろな体験コーナーや大型遊具があります。そして、なんととっても一番の目玉は建物の4階から8階の間にある「道具の塔」という巨大ジャングルジムです。

最初は興味なさそうにしていたメンバーもいったん入るともう夢中で、なかなか出てきませんでした。結構急な場所もあって、小さい子には難しいかなと思いましたが、みんな身軽に遊んでいました。ひやひやしたのは、見守っていたリーダーだけだったようです。

室内での遊びでしたが、思い切り体を動かして楽しむことができたのではないのでしょうか。



*もくもくアツアツキャンプ

春キャンプは、大阪の子どもたちと一緒に滋賀県の山の中にあるもくもくの里に行きました。

キャンプのテーマは「ほのお」と「仲間」。グループのみんなで協力して火をおこし、カレーを作ったり、竹パンを焼いたり。アツアツ祭り（キャンプファイヤー）も盛り上がりました。

キャンプのメインは最終日のもくもく祭り（出し物大会）です。グループでどんな出し物をするのか、3日間をかけて話し合い準備をしていく中で、グループのみんなが協力して一つのことを成し遂げることができました。女子チームはきゃりーぱみゅぱみゅのダンスを踊り、最後には握手会をして手作りのべっこう飴をみんなに配りました。男子低学年チームは自分の好きな格好に扮装し嵐の「A・RA・SHI」のダンスを楽しそうに踊りました。そして、高学年男子チーム



は自分たちの部屋をお化け屋敷にしてみんなを楽しませてくれました。それぞれのグループが特徴のある出し物を見せてくれ、盛り上がってキャンプを終えることができました。

グループ活動を中心にみんなで3日間を過ごすことで、メンバー一人ひとりの成長が垣間見えるキャンプになったと思います。メンバーのみんなもいい思い出を持って帰ってくれたのではないのでしょうか。

■コーヒー豆を仮設住宅へ提供

被災者支援チームメンバーからだけでなく、梅田と千里の会員からも豆の現物あるいは豆を購入する費用の寄付を得て、9月に2.2kg、12月に1.6kgを仙台市内のJR南小泉仮設住宅へコーヒー豆を届けました。



■街頭募金

街頭に立ち寄付を募ることにより、3年経って忘れ去られようとしている東日本大震災の記憶を呼び覚ましてもらうことと、わいわいステイ実施の費用を得るために行いました。

日時：3月8日(土) 14:00~16:00 場所：JR大阪駅南、阪神百貨店 西側

参加：8名 募金達成額：11,160円

■Stand by You vol. 2

ボランティアとして、グループパレット、サイレントアピール、クリスマスバザーなど大阪YWCAの様々な活動に長年関わってくれているシンセサイザー奏者であり作曲家、ミュージカル俳優もこなすアーティスト 熊井健吉さんの協力を得て、2012年度から始めたライブの第2段。アーティストによるライブ演奏、わいわいステイなど大阪YWCAの被災者支援活動の紹介、東北物産の販売などを行いました。ライブチケットによる収益は、大阪YWCAの被災者支援活動にご寄付いただきました。

熊井さんは、「毎年1回は開催し、長く続けたい」と素敵な頼もしい言葉を下さっています。

日時: 2014年1月25日(土) 18:00~21:00頃 会場: 雲州堂

参加アーティスト: 健吉、おおつえ、空音、唄種、マーサ

寄付額: 11,160円 来場者数: 33名

2013年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援活動にご寄付下さった皆様

朝川晃子、上田康子、魚谷美知子、遠藤恵美子、坂田道子、櫻井愛子、宍戸百子、白井邦子、砂子興一郎、瀧本政子、中野美代子、武市温子、原紀子、藤岡美智子、山高万寿子、吉田暁美
日本基督教団大阪城北教会CS・藤が丘幼稚園、日本基督教団甲東教会エリコの会、
日本基督教団大阪教区核問題特別委員会、サワディープロジェクト
大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会、大阪YWCA千里委員会、千里委員会東北に思いを馳せるつどい

この他、大阪YWCA設置の募金箱にも多数の募金を頂戴しました。ご協力ありがとうございました

2013年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援 収支決算

収 入		支 出	
助成金	1,240,000	旅費交通費 参加者・引率移動費等	671,935
寄付金	634,498	プログラム費 キャンプ参加費、食材等	939,993
プログラム収入	78,600	通信運搬費	2,803
前期からの繰り越し	471,936	消耗品費	10,249
		保険料	12,527
		事務費・人件費	381,648
		次期繰り越し	405,879
計	2,425,034	計	2,425,034

公益財団法人 大阪YWCA

〒530-0026 大阪市北区神山町1-1-12

TEL (06) 6361-0838 FAX (06) 6361-2997

e-mail info@osaka.ywca.or.jp http://osaka.ywca.or.jp/